

**2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覽**

**Annual Review of Graduate School of Disaster Resilience and Governance  
for Fiscal Year 2023**

**兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科**

**Graduate School of Disaster Resilience and Governance  
University of Hyogo**

## 2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覧

本研究一覧は、2022 年度（2022 年 4 月から 2023 年 3 月）に減災復興政策研究科の教員が実施しました研究項目をまとめたものです。

### ・災害科学領域

永野 康行（ながの やすゆき） 教授  
馬場 美智子（ばんば みちこ） 教授  
谷口 博（たにぐち ひろし） 准教授  
平井 敬（ひらい たかし） 准教授

### ・減災コミュニケーション領域

阪本 真由美（さかもと まゆみ） 教授  
浦川 豪（うらかわ ごう） 教授  
松川 杏寧（まつかわ あんな） 准教授

### ・減災復興ガバナンス領域

青田 良介（あおた りょうすけ） 教授  
澤田 雅浩（さわだ まさひろ） 准教授  
紅谷 昇平（べにや しょうへい） 准教授

## 2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覧

### 【学術研究書（著書）】

1. 神戸市教育委員会事務局学校教育部教科指導課，（共著）浦川豪，“R5 神戸市 SSS 中学校理科副読本，” pp.115-120, 2023 年 3 月，神戸市教育委員会
2. 松岡俊二，阪本真由美，寿楽浩太，寺本剛，秋光信佳，“未来へ繋ぐ災害対策－科学と政治と社会の協働のために，” pp. 28-48,183-202, 2022 年 12 月，有斐閣
3. 名古屋大学減災連携研究センター古文書勉強会，（共著）平井敬，“西尾市教育委員会所蔵 田中長嶺『尾濃震災図録』翻刻”，2023 年 3 月

【査読付き学術論文】

1. 黒宮マキ子, 青田良介, 紅谷昇平, “社会福祉法人と関連施設の連携による新型コロナウイルス感染症の対応についての報告,” 地域安全学会論文集, No.41, pp.63-72, 2022 年 11 月
2. 折橋祐希, 浦川豪, “風水害における住家の被害認定調査の簡易化手法の現状と課題の考察—被災自治体職員へのヒアリング調査を通して—,” 自然災害科学, Vol. 41, 特別号, pp.237-252, 2022 年 10 月
3. 折橋祐希, 鈴木進吾, 丸山喜久, 浦川豪, “ワークショップを通じた避難情報発令プロセスの可視化,” 大阪市立大学都市防災研究論文集, Vol.9, pp.25-30, 2022 年 11 月
4. 磯村和樹, 阪本真由美, “南海トラフ地震被災想定自治体における災害時に向けた官民連携体制に関する研究—兵庫県南あわじ市の官民災害協定を中心とした事例調査—,” 地域安全学会論文集, No.42, pp.1-11, 2023 年 3 月
5. 前川浩基, 加藤直樹, 歌田知昭, 中澤智博, 杉本和也, 吉田泰基, 中山善夫, 石原健司, 阪本真由美, “IoT センサ装置を用いた道路沿線斜面等の防災管理手法の提案,” 地域安全学会論文集, No.41, pp.197-207, 2022 年 11 月
6. 川西勝, 阪本真由美, “豪雨災害に関連する防災情報を論じた新聞社説のメディアフレーム分析,” 災害情報, No.20, pp.111-121, 2022 年 7 月
7. 澤田雅浩, “中高層住宅のみで構成される地区における在宅避難を前提とした地区防災計画のあり方に関する研究—神戸市中央区港島地区における地区防災対策委員会の活動を通じて—,” 地区防災計画学会誌, No.24, pp.74-87, 2022 年 8 月
8. 松田朋子, 澤田雅浩, “居住地域における看護職者の減災・復興活動の可能性に関する研究” 地域安全学会論文集, No.41, pp.11-18, 2022 年 11 月
9. 石塚直樹, 澤田雅浩, “地域復興支援員制度が支援員自身に及ぼす影響に関する研究—2004 年新潟県中越地震における長岡市の地域復興支援員を対象としたアンケート調査を通じて—,” 日本建築学会計画系論文集, Vol.88, No.803, pp.154-164, 2023 年 1 月
10. Koji Moriya, Tomoharu Saruwatari, Taiki Hirata and Yasuyuki Nagano, “A Study on the Seismic Disaster Risk Assessment for Buildings under Construction in Urban Areas,” 都市防災研究論文集, Vol.9, pp.42-47, 2022 年 11 月
11. 永野康行, 本田理奈, 大谷英之, “想定南海地震における地域規模の建物被害予測—行政データ情報に基づく鋼構造建物を対象として—,” 鋼構造年次論文報告集, Vol. 30, pp.579-584, 2022 年 11 月
12. Takashi Hirai, “Detection of Step and Pulse Components and Estimation of Displacement Waveform Based on Near-fault Seismic Ground Motion Record,” Journal of Japan Association for Earthquake Engineering, Vol.22, No.3, pp.1-15, 2022 年 6 月
13. 高橋広人, 平井敬, 護雅史, “2 次元 S 波速度構造推定における地震波干渉法の常時微動記録への適用性,” 日本建築学会構造系論文集, Vol.87, No.798, pp.690-700, 2022 年 8 月
14. 手塚朋子, 平井敬, 高野美希, 山田銀河, “日本刀を事例とした文化財の地震時損傷防止対策,” 日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要, No.27, pp.49-57, 2023 年 3 月

2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覧

15. 平井敬, 吉岡優樹, 福和伸夫, “自動車を利用した地震観測の実現へ向けた車両振動実験,” 日本地震工学会論文集, Vol.23, No.1, pp.1-14, 2023 年 2 月
16. 紅谷昇平, “水害被災市町村の応急対応に対する当該都道府県による人的支援の役割,” 地域安全学会論文集, No.41, pp.295-302, 2022 年 11 月
17. 松川杏寧, 高岡誠子, 木作尚子, 柴野将行, 有吉恭子, “避難生活の質の向上に関する基礎研究—避難所運営経験者へのインタビュー調査から— [Basic research on improving the quality of evacuation life: Insights from interviews with evacuation site operators],” 地域安全学会論文集, No.41, pp107-118, 2022 年 11 月

【学会・国際会議での発表】

1. 青田良介, 栗蔭維, “介護施設における水害時の BCP (事業継続計画) 整備に関する一考察” 日本災害復興学会 2022 京都大会, pp.5-8, 2022 年 10 月
2. 本莊雄一, 青田良介, 紅谷昇平, 今石佳太, 張勳, 赤松崇志, “人口規模別にみた基礎自治体の災害対応力に関する比較研究－全国の基礎自治体に対する質問紙調査の結果概要－” 日本災害復興学会 2022 京都大会, pp.25-28, 2022 年 10 月
3. 勝井浩美, 青田良介, “地方分権化が進むネパールにおける、小河川の流域治水の可能性” 日本災害復興学会 2022 京都大会, pp.21-24, 2022 年 10 月
4. 今石佳太, 青田良介, 紅谷昇平, 奥村敬介, “大規模災害時における避難生活長期化での生活環境の課題と改善への取組:熊本県益城町の事例報告,” 地域安全学会・梗概集, No. 51, pp.21-24, 2022 年 10 月
5. 本莊雄一, 青田良介, 紅谷昇平, 今石佳太, 張勳, 赤松崇志, “人口規模別にみた基礎自治体の災害対応力に関する比較研究-全国の基礎自治体に対する質問紙調査の結果概要-,” 日本災害復興学会 2022 年度京都大会予稿集, pp.19-22, 2022 年 10 月
6. Ryosuke Aota, “Lesson from the 1995 Hanshin Awaji Earthquake and Japan’s Disaster Management,” Japan-Asia Exchange Program in Science, 2023 年 1 月
7. 折橋祐希, 浦川豪, “避難情報発令に係る意思決定支援,” 減災情報システム第 12 回合同研究会, 地域安全学会・電子情報通信学会, 2023 年 3 月
8. 山内徹, 浦川豪, 檜原茂, “R 高速道路における災害情報の広域 3D 可視化プラットフォームの構築,” 減災情報システム第 12 回合同研究会, 地域安全学会・電子情報通信学会, 2023 年 3 月
9. 阪本真由美, 松井敬代, “まちなみにみる北但大震災一城崎町に着目して-,” 歴史地震研究会, 2022 年 9 月
10. 阪本真由美, 中道治久, 高橋若菜, 荒島千鶴, 荒木田勝, “越境火山災害に対する国際リスクガバナンスーフンガ・トンガ噴火対応に着目して,” 日本惑星地球科学連合 2022 年大会, 2022 年 5 月
11. Mayumi Sakamoto, “Formation of International Risk Communication Systems for Volcanic Eruption in Europe after the 2010 Eyjafjallajokull Eruption,” Cities on Volcanoes 2022, Cities on Volcanoes, 2022 年 6 月
12. 阪本真由美, 明城徹也, “被災者支援コーディネーションの役割に関する一考察” 地域安全学会梗概集, No.50, pp.150-151, 2022 年 5 月
13. 中道治久, 阪本真由美, “火山岩塊の落下を受けて実施した桜島住民アンケート結果” 日本火山学会講演予稿集 2022 年度秋季大会, pp.1, 2022 年 9 月
14. 長島雄介, 阪本真由美, “小学校における地震・津波発生メカニズムの取り上げ方に関する研究,” 日本災害情報学会第 25 回学会大会予稿集, pp. 6-7, 2022 年 10 月
15. 阪本真由美, “Trans-boundary Disaster Governance” アジア防災会議 2022, アジア防災会議, 2023 年 3 月

16. 阪本真由美, “地震火山観測データを活用した減災・復興モデルの構築とリスクコミュニケーション,” 災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究令和4年度研究成果報告会, 東京大学, 2023年3月
17. 阪本真由美, 小山真紀, “行政と地域住民とのコミュニケーションを通じた合意形成についての一考察—倉敷市真備町岡田地区における地区防災計画の実践より—,” 第63回地区防災計画学会, 2023年3月
18. 長島雄介, 阪本真由美, “小学校教育における火山の取扱いに関する一考察—「火山噴火メカニズム」導入の必要性,” 日本災害情報学会第26回学会大会, 2023年3月
19. 松田朋子, 澤田雅浩, “居住地域における看護職者の減災・復興活動への参加可能性”, 地域安全学会梗概集, No.50, pp133-136, 2022年5月
20. 王寧, 澤田雅浩, “在日中国人ネットワークの災害時共助コミュニティとしての可能性に関する研究”, 地域安全学会梗概集, No.50, pp145-146, 2022年5月
21. オンシミン, 澤田雅浩, “自治体が設置する防災関連サインの現状に関する研究—兵庫県内の自治体を対象として—”, 地域安全学会梗概集, No.50, pp161-164, 2022年5月
22. 湯井恵美子, 澤田雅浩, “特別支援学校における災害時優先業務に関する一考察—三重県立特別支援学校における全校調査から—”, 地域安全学会梗概集, No.50, pp173-176, 2022年5月
23. 前川良栄, 澤田雅浩, “障害児者を支える福祉事業者の災害対策の現状に関する研究—京都府山城北圏域を対象として—”, 地域安全学会梗概集, No.50, pp195-198, 2022年5月
24. 佐藤 敬生, 澤田 雅浩, 事前復興対策としての二地域居住政策の可能性について, 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演梗概集, 20巻, pp. 41-44, 2022年7月
25. 倉知沙耶, 安藤千夏, 澤田雅浩, “復興公営住宅入居者の生活構造変化とその再構築過程に関する研究—平成30年7月豪雨で被災した広島県坂町小屋浦地区の被災者を対象として—その1 従前の生活行動からの変化”, 日本建築学会学術講演梗概集(都市計画), pp.687-688, 2022年9月
26. 安藤千夏, 倉知沙耶, 澤田雅浩, “復興公営住宅入居者の生活構造変化とその再構築過程に関する研究—平成30年7月豪雨で被災した広島県坂町小屋浦地区の被災者を対象として—その2 新たに生まれた生活行動と交流の機会”, 日本建築学会学術講演梗概集(都市計画), pp.689-690, 2022年9月
27. 澤田雅浩, “マンションが連携してすすめる地区防災計画づくり—「まねっこ」と「やってみる」でつなぐ対策の知恵—” 地区防災計画学会第9回大会, 2023年3月
28. 澤田雅浩, “災害リスクを踏まえた土地利用制限を社会に実装するには”, 令和4年度「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第2次)」成果報告シンポジウム 部会報告(防災リテラシー部会), 東京大学, 2023年3月
29. 澤田憲司, 永野康行, 朝川剛, 山川誠, “鋼構造建築物の層剛性と耐力のばらつきを考慮した耐震安全性,” 令和4年度日本建築学会, 日本建築学会, 2022年6月
30. 澤田憲司, 永野康行, 朝川剛, 山川誠, “鋼構造建築物の層剛性と耐力のばらつきを考慮した耐震安全性[表層地盤の増幅を考慮した場合],” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022年9月

31. TSUTSUI Kanta, HONDA Rina, NAGANO Yasuyuki, “Continuous quantity visualization of time history response analysis results using individual building attributes,” JSST 2022, JSST, 2022 年 9 月
32. 松原郁洋, 永野康行, “建物内にいる人の地震時における安心感に関する可視化研究,” VR2022, 先進的可視化環境とデータ科学を用いた可視化解析の研究会, 2022 年 12 月
33. 祖父江俊介, 永野康行, “将来の地震災害被害予測に向けた街並み変化の可視化に関する研究,” VR2022, 先進的可視化環境とデータ科学を用いた可視化解析の研究会, 2022 年 12 月
34. 筒井寛太, 郷原昌樹, 水島靖典, 永野康行, “検討数が数千オーダーである立体フレームモデルの時刻歴応答解析,” 令和 4 年度日本建築学会, 日本建築学会, 2022 年 6 月
35. 本田理奈, 大谷英之, 永野康行, “建物個別属性を利用した時刻歴応答解析手法と経験的手法による建物被害予測の総合評価,” 令和 4 年度日本建築学会, 日本建築学会, 2022 年 6 月
36. 祖父江俊介, 筒井寛太, 松原郁洋, 内見龍一, 永野康行, “コミュニティの創成・維持を可能とする少人数型ユニット仮設住宅の提案,” 構造形態創生小委員会, 日本建築学会, 2022 年 10 月
37. 横山晴紀, 朝川剛, 山川誠, 永野康行, “初期剛性付与型変位制御ブレースの構造最適化による 2 次元鋼構造骨組モデルの応答制御,” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022 年 9 月
38. 岸田澄雄, 山川誠, 朝川剛, 永野康行, “変位制御型ブレース付き鋼構造骨組の順序統計量に基づくロバスト最適設計,” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022 年 9 月
39. 本田理奈, 大谷英之, 永野康行, “想定南海地震における都市規模の建物被害予測,” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022 年 9 月
40. 内見龍一, 永野康行, “ボーリングデータ(N 値)から計算された Vs 推定の精度についての一考察,” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022 年 9 月
41. 筒井寛太, 本田理奈, 大谷英之, 永野康行, “都市規模の建物被害予測における鋼構造建築物の構造計画の違いによるモデル化に関する研究,” 日本建築学会大会学術講演梗概集, 日本建築学会, 2022 年 9 月
42. 郷原昌樹, 筒井寛太, 水島靖典, 永野康行, “検討数が数千オーダーである立体フレーム解析の連続実行,” 第 66 回理論応用力学講演会, 日本建築学会他, 2022 年 6 月
43. 筒井寛太, 郷原昌樹, 水島靖典, 永野康行, “検討数が数千オーダーである立体フレーム解析のための材料特性テスト,” 第 66 回理論応用力学講演会, 日本建築学会他, 2022 年 6 月
44. 郷原昌樹, 筒井寛太, 水島靖典, 永野康行, “3 次元立体フレームモデルの応答データベース構築の試み,” 日本地震工学会第 17 回年次大会, 日本地震工学会, 2022 年 12 月
45. Kanta Tsutsui, Yasunori Mizushima, Motonobu Maekawa, Yasuyuki Nagano, “Comparison of Analysis Results between Implicit and Explicit Methods by Parametric Study of Thousands of 3D Building Structure Models,” 15th World Congress on Computational Mechanics, WCCM, 2022 年 8 月
46. 氏家里菜, 馬場美智子, “復興公営住宅の高齢者の課題と地域防災の取り組み—震災から 27 年経った神戸市 HAT なぎさ地区において—,” “地域安全学会梗概集, No.50, pp117-120, 2022

年 5 月

47. 山口まどか, 馬場美智子, “住民の助け合いにつながる地域活動に関する一考察—「困りごと」を接点とした人のつながりに着目して—,” “地域安全学会梗概集, No.50, pp121-124, 2022 年 5 月
48. 大橋克矢, 馬場美智子, 岡井有佳, “水害リスク低減に向けた土地利用規制・誘導手法に関する研究—都道府県の総合治水条例に着目して—,” 日本建築学会学術講演梗概集, pp. 673-676, 2022 年 7 月
49. 喜多孝輔, 酒井智弘, 岡井有佳, 馬場美智子, “津山市重要伝統的建造物群保存地区における水害リスクに関する研究,” 歴史都市防災論文集, Vol. 16, pp.191-196, 2022 年 7 月
50. Michiko Banba, “Finding obstructive factors for resilient housing recovery practice after flood,” 9th International Conference on Flood Management, 2023 年 2 月
51. 桂川陽佳, 平井敬, 福和伸夫, “地形スキミングとプロジェクションを用いた災害危険度を実感できる携帯砂場模型の開発,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.57-58, 2022 年 9 月
52. 石川舞花, 平井敬, 福和伸夫, 高橋広人, “加振源の距離が微動アレイ探査による分散曲線推定に及ぼす影響の検討,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.69-70, 2022 年 9 月
53. 西山紗代, 平井敬, 護雅史, “不整形地盤構造と微動水平上下スペクトル比の関係についての数値解析的検討,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.75-76, 2022 年 9 月
54. 高橋広人, 平井敬, “表面波探査における 2 点間の位相差の利用に関する数値実験,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.119-120, 2022 年 9 月
55. 成澤恒星, 平井敬, 福和伸夫, “建築振動教育のための加速度計測・分析・可視化システムの開発 その 1: 全体概要と無線によるデータ伝送機能を備えた MEMS 加速度計を用いた振動計測,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.227-228, 2022 年 9 月
56. 大田川駿也, 平井敬, 福和伸夫, “建築振動教育のための加速度計測・分析・可視化システムの開発 その 2: 時系列データのオブジェクト指向分析と波形処理 Web システムの設計,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.229-230, 2022 年 9 月
57. 平井敬, 吉岡優樹, 福和伸夫, “自動車を用いた高密度地震観測の実現へ向けた車両振動実験,” 日本建築学会学術講演梗概集 (構造 II), pp.241-242, 2022 年 9 月
58. 平井敬, “大沢家本願寺関係文書に記された安政東海・南海地震 その 2,” 第 39 回歴史地震研究会 (高槻大会) 講演要旨集, pp.9, 2022 年 9 月
59. 平井敬, 手塚朋子, 高野美希, “展示状態の文化財の地震時損傷防止に関する検討—日本刀の振動実験—,” 日本地震学会 2022 年度秋季大会講演予稿集, 2022 年 10 月
60. Thinzar Yadanar, Yuting Chou, Sayo Nishiyama, Takashi Hirai, Masafumi Mori, Shinichi Matsushima, Fumiaki Nagashima, “Estimation of Subsurface Velocity Structure by Using Microtremor Observation in Uji Campus, Kyoto University,” 日本地震工学会第 17 回年次大会, 2022 年 12 月
61. 生田英輔, 越山健治, 寅屋敷哲也, 紅谷昇平, “漸増型巨大災害リスクに対応する地域防災体制の構築,” 自然災害科学総合シンポジウム講演論文集, Vol. 59, p.89-97, 2022 年 9 月

2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覧

62. 駒田大地, 紅谷昇平, “中小企業強靱化法に基づく企業連携に関する研究” 地域安全学会・梗概集, No. 51, pp.65-68, 2022 年 10 月
63. 紅谷昇平, “防災・安全工学におけるレジリエンスの概念,” 第 6 回日本リンパ浮腫学会総会シンポジウム, 2023 年 3 月
64. 松川杏寧, “災害後の犯罪発生に関する基礎研究 [Basic research on crime occurrence after disasters],” 地域安全学会梗概集, No.50, pp153-156, 2022 年 5 月
65. 岡本英生, 松川杏寧, 山本雅昭, 宇都宮敦浩, “新型コロナウイルス感染症が犯罪に与えた影響－新型コロナウイルス感染症の感染拡大・その対策と犯罪との関係－ [The impact of COVID-19 on crime - The relationship between the spread of COVID-19, its countermeasures, and crime],” 第 60 回犯罪心理学会報告要旨集, 2022 年 9 月
66. Matsukawa, A., Kitamura, M., “LGBTQ+ People in Japan. In World Bosai Forum,” 2023 年 3 月
67. Shita, N., Matsukawa, A., Kitamura, M., “Inclusive Disaster Prevention from an LGBTQ Perspective. In World Bosai Forum,” 2023 年 3 月

【その他の論文等】

1. 青田良介, 齋藤富雄, 本莊雄一, 大西真衣, “新型コロナウイルス感染症対策における都道府県対策本部のあり方に関する考察—アンケート調査結果等を踏まえて,” 地方行政事務研究, No.5, pp.60-68, 2022 年 10 月
2. 阪本真由美, “地域と連携した防災教育の展開—「知識・技能」を「思考力・判断力・表現力」に結びつけるための教育実践” 兵庫教育, No.863, pp. 4-7, 2023 年 1 月
3. 阪本真由美, “災害対応・復旧復興事業における官民連携の視座,” 南海トラフ地震に備える政策研究, pp.202-210, 2023 年 3 月
4. 澤田雅浩, “外国人コミュニティの共助力 : 阪神・淡路大震災時の神戸における在日中国人の取組みから考える”, 東京消防, 101 (7), pp.40-43, 2022 年 7 月
5. 澤田雅浩, “地域に存在する減災力 : 潜在看護師とプラチナナース”, 東京消防, 101 (11), pp.55-60, 2022 年 11 月
6. 澤田雅浩, “トルコでの大地震と建物、まち”, 東京消防, 102 (3), pp.38-42, 2023 年 3 月
7. 那須野智江, 山田 洋平, 野田暁, 中野満寿男, 小玉 知央, 清木達也, 大野知紀, 渡辺真吾, 高野雄紀, 高須賀大輔, 杉本志織, 山上遥航, 佐藤正樹, 三浦裕亮, 谷口博, 藤田実季子, 服部美紀, 宮川知己, Roh Woosub, 澁谷亮輔, 末松環, Ying-Wen Chen, 八代尚, 池田美紀子, 安永数明, 菊地一佳, 江口菜緒, 坂井彩織, “全球非静力学モデルを用いた高解像度計算による気象擾乱の発生・発達メカニズムとその予測可能性に関する研究,” Annual Report of the Earth Simulator April 2021-March 2022, II-5-1-II-5-6, 2022 年 10 月
8. 馬場 美智子, 近藤 民代, 藤井 諒平, 2018 年西日本豪雨後の倉敷市真備町における住宅再建と耐水化に関する質問紙調査の報告, 都市計画報告集, Vol. 21, No.2, pp.171-176, 2022 年 9 月
9. 成本凌, 蒲田峻大, 近藤民代, 馬場美智子, “水害による連続被災を経験した佐賀県武雄市における住宅耐水化行動と空間的特徴,” 都市計画報告集, Vol. 21, No. 4, pp.471-476, 2023 年 3 月
10. 平井敬, “歴史に学ぶ地震対策 安政の大地震を中心に (講演),” 旧町名を復活する会第 112 回例会, 2022 年 6 月
11. 平井敬, “歴史に学ぶ地震対策～安政の大地震～ (講演),” 岐阜市生涯学習センター主催ハートフルレクチャー, 2023 年 3 月

【受賞等】

1. 学会賞（論文賞），澤田雅浩，“中高層集合住宅のみで構成される地区における在宅避難を前提とした地区防災計画のあり方に関する研究—神戸市中央区港島地区における地区防災対策委員会の活動を通じて—” 地区防災計画学会, 2023 年 3 月
2. 2022 年地域安全学会年間優秀論文賞，紅谷昇平，“水害被災市町村の応急対応に対する当該都道府県による人的視点の役割,” 地域安全学会, 2023 年 2 月

【外部資金の獲得状況（科研費）】

1. 青田良介（代表）：災害復興における多様な連携・協働を推進するシステムの構築に関する研究，基盤 C，2017-04-01 – 2023-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-17K01338/>
2. 青田良介・馬場美智子（分担）：Poverty, resilience and vulnerability: Evidence from Leyte after Typhoon Haiyan，基盤 C，2018-04-01 – 2023-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-18K11830/>
3. 阪本真由美（分担）：大規模災害に関する集会的記憶の物象化・物語化と防災教育，基盤 A，2023-03-17 – 2024-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K21372/>
4. 阪本真由美（分担）：自発的行動特性を持つ革新的避難モデルの開発”，挑戦的研究(萌芽)，2021-07-09 – 2024-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-21K18789/>
5. 阪本真由美（分担）：2023 年トルコ南部の地震と災害に関する総合調査”，特別研究促進費，2023-03-17 – 2024-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K21372/>
6. 永野康行（分担）：耐震レジリエンス／ロバスト性向上のための数値実験システムの開発，基盤 C，2022-04-01 – 2025-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K04420/>
7. 澤田雅浩（分担）：大規模災害被災地域における持続可能な地域ケア体制の再構築戦略”，基盤 B，2020-04-01 – 2024-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20H04021/>
8. 澤田雅浩（分担）：成熟社会に対応した漁業集落の復興まちづくりの方法論に関する研究”，基盤 C，2020-04-01 – 2023-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20K04875/>
9. 馬場美智子（代表）：水害リスクに応じた土地利用・建築規制に関わる実効的な制度と運用方法の研究，基盤 C，2018-04-01 – 2023-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-18K04487/>
10. 平井敬（分担）：免震建物の被災後・長期稼働後を想定した免震装置の特性変化モニタリング，基盤 B，2022-04-01 – 2025-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22H01640/>
11. 平井敬（代表）：超高密度地震観測の実現へ向けた自動車搭載震度計の開発，基盤 B，2022-04-01 – 2027-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22H01575/>
12. 松川杏寧（分担）：ネット詐欺被害の危険因子の解明と注意喚起手法の開発，基盤 C，2022-04-01 – 2026-03-31，<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K01220/>

2023 年度 減災復興政策研究科 研究一覽

2023 年 9 月 28 日 発行

発行者 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科